TOSHIBA　東芝ワイヤレスアンプ取扱説明書

対象機種	AWA-8200D（カセット、CD 付）

このたびは、東芝ワイヤレスアンプをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
お求めの東芝ワイヤレスアンプを正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
なお、お読みになったあとは、必ず保存してください。

目　次

安全上のご注意……2
設置・使用上のご注意……6
各部のなまえと説明……7
接続のしかた……9
使用電源について……10
ワイヤレスチューナ部の説明……11
800MHz 帯ワイヤレスシステムについて……12
マイクオーダーについて……13
別売ワイヤレスチューナの取付のしかた……14
使いかた……15
ハウリングとデッドポイントについて……16
カセットデッキ部の説明……17
CD プレーヤ部の説明……21
付属の防塵カバーについて……27
修理サービス……28
仕様……30
外形寸法図……31
保証とアフターサービスについて……31

工事店様へ　工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。
お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

＜生産完了 2006年02月08日＞
AWA-8200D (1 7 31)

安全上の注意

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図のなかに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになった後は本機のそばなど、いつも手元に置いてご使用ください。
- この取扱説明書および製品への表示では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

〔据付、設置、接続、移動にあたっての注意〕

■ 通風のよい場所に設置してください。高温や湿度、ほこりの多い次のような場所には設置しないでください。火災、感電の原因となります。
- サウナや風呂場など
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所
- 直射日光のあたる場所
- 夏の窓を閉めきった自動車の中
- 電気、ガス、石油ストーブなどの暖房器具の真上やその付近
- 有害ガスやいろいろなほこりが特に多い所

■ この機器の通風孔はふさがないでください。通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となります。次のような使い方はしないでください。
- 風通しの悪い狭い所におしこむ。
- テーブルクロスなどをかけたり、じゅーたんや布団の上に置いて使用する。
- 仰向けや横倒し、逆さにする。

■ （AC電源でご使用の場合）電源コードの上に重いものを乗せたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災、感電の原因となります。

＜生産完了 2006年02月08日＞
AWA-8200D (2 / 31)

⚠ 警告

〔据付、設置、接続、移動にあたっての注意〕

■（AC 電源でご使用の場合）表示された電圧（交流 100V）以外の電圧で使用しないでください。火災、感電の原因となります。

■この機器は改造しないでください。
火災、感電の原因となります。

■（AC 電源でご使用の場合）AC１００V 関係の配線工事は電気工事士にご依頼ください。
一般の人が行うことは法により禁じられています。

〔使うときの注意〕

■この機器に水が入ったり、濡らさないようにご注意ください。
火災、感電の原因となります。

■この機器のキャビネットは絶対に外さないでください。
感電の原因になります。
内部の点検、調整、修理は販売店にご依頼ください。

■（AC 電源でご使用の場合）電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたりねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。
火災、感電の原因となります。

■万一、機器の内部に水や金属物などが入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、（AC 電源でご使用の場合は）電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

■万一、煙が出ている、変な臭いがする。異常な音がするなどの異常状態のまま使用すると火災、感電の原因となります。すぐに、本体の電源スイッチを切り、（AC 電源でご使用の場合は）必ず電源プラグをコンセントから抜いて煙が出なくなるのを確認してから、販売店に修理をご依頼してください。

■万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、（AC 電源でご使用の場合）電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災、感電の原因になります。

＜生産完了 2006年02月08日＞
AWA-8200D (3 / 31)

⚠ 警告

■乾電池は充電しないでください。電池の破裂、液もれにより火災、けがの原因となります。

■雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

■この機器の通風孔から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災、感電の原因となります。

〔お手入れ、保守、点検にあたっての注意〕

■電源コードが痛んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。
そのままで使用すると火災、感電の原因となります。

⚠ 注意

〔据付、設置、接続、移動にあたっての注意〕

■ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

■移動させる場合は電源スイッチを切り、（AC 電源でご使用の場合）必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行ってください。
そのままで移動するとコードに傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

■機器を接続する場合は、各々の機器の取扱い説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。

■電源コードや接続機器類のコードを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。

＜生産完了 2006年02月08日＞
AWA-8200D (4 / 31)

⚠ 注意

〔使うときの注意〕

■持ち運びするときは、アンテナをたたんでください。
のばしたまま持ち運びするとアンテナが引っかかったり、当たったりなどしてけがの原因となることがあります。

■（AC 電源でご使用の場合）濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

■電池を機器内に挿入する場合、極性表示（プラス＋、マイナス－の向き）に注意し、表示どおりに入れてください。
間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

■指定以外の電池は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。乾電池の破裂、液もれにより火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

■電源を入れる前にアンプの音量（ボリューム）を最小にしてください。
突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

■この機器の上に乗ったりしないでください。
特にお子様にはご注意ください。
こわれたりして、けがの原因となることがあります。

■カセットテープ挿入孔に、手を入れないようにご注意してください。
けがの原因となることがあります。

■長時間音が歪んだ状態で使わないでください。
スピーカが発熱し、火災の原因となることがあります。

■使用中に突然音が出なくなったなどの異常が生じたときは、すぐに電源スイッチを切り、（AC 電源でご使用の場合）電源プラグをコンセントから抜いてお近くの販売店にご相談ください。
そのまま放置しておくと、大変危険です。

＜生産完了 2006年02月08日＞
AWA-8200D (5 / 31)

⚠ 注意

〔お手入れ、保守、点検にあたっての注意〕

■お手入れの際は、安全のため（AC 電源でご使用の場合）電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

■1 年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除しないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。

■電池は金属製のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアーピンなどと一緒に携帯、保管しないでください。
電池のプラス端子とマイナス端子の間がショートし、電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

〔廃却するときの注意〕

■電池は加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。
電池の破裂、液もれにより火災、けがの原因となることがあります。

設置・使用上のご注意

●本機の放熱孔をふさがないよう上面、及び後面に 10cm 以上の空間を確保してください。
●本機を水滴または飛沫のかかる場所で使用しないでください。
●使用中に強い衝撃や振動を加えないでください。音切れや故障の原因となることがあります。
●本機を雑音発生の原因になる機器(※)の近くには設置しないでください。
※高周波機器（乾燥機、医療機器など）、電気溶接機、ブラッシングモータ、自動車の通る道、携帯電話機、デジタル機器（コンピュータ、電子楽器など）、空気清浄機など。

遮断装置について

●本機は電源プラグが遮断装置になります。
●本機は遮断装置へ容易に手が届くように、電源コンセントの近くで使用してください。

＜生産完了 2006年02月08日＞
AWA-8200D (6 / 31)

各部のなまえと説明

■ 背面操作部

充電表示灯
別売ニカド蓄電池(オプション)の充電中には赤色に点灯します。

モノラル予備入力ピンジャック
(−20dBs 10kΩ不平衡)
CDプレーヤなどを接続してください。ステレオ機器の場合は両方のジャックに接続、モノラル機器の場合はいずれかのジャックに接続してください。

ハンドル
本機を移動させるときは、ハンドルを起こして持ち運んでください。移動時以外は、ハンドルをねかせておいてください。

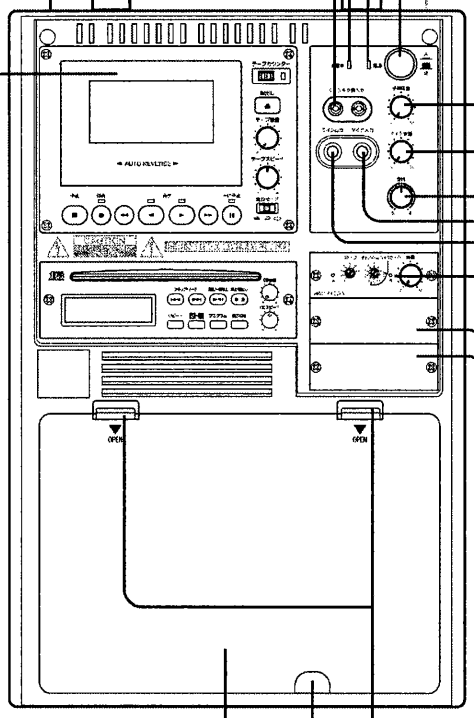
内蔵アンテナ
ワイヤレスマイク受信用アンテナです。

カセットデッキ部
17〜20ページのカセットデッキ部の説明をご覧ください。

CDプレーヤ部
21〜26ページのCDプレーヤ部の説明をご覧ください。

収納部ふた
8ページの背面収納部の説明をご覧ください。

コード通し穴
AC電源コード、外部スピーカ接続コード接続時はこの通し穴から引き出してください。



ふたストッパ
矢印(▽)の方向に押さえますと、収納ふたが開きます。

電源表示灯
本機の電源が入ると緑色に点灯します。また電池でご使用のときは、電池が消耗すると点滅しますので、新しい電池と交換してください。

電源スイッチ
ワイヤレスアンプの電源を「入」「切」するときに押します。

予備音量調節つまみ
モノラル予備入力ピンジャックに接続された機器の音量を調節してください。

マイク音量調節つまみ
本機のマイク入力ジャックに接続されたマイクロホンの音量を調節してください。

音質調節つまみ
右まわりで高音が強調され、左まわりで減衰されます。中心のクリック位置がフラットです。
すべての入力に共通して音質調節がおこなえます。

マイク入力ジャック
(−54dBs 600Ω不平衡)
有線マイクのプラグを接続してください。

ライン出力ジャック
(2dBs 1kΩ 不平衡)
カセットデッキなどを接続してください。

ワイヤレスチューナ部
800MHz帯ワイヤレスチューナユニットAWU-842WAを1台収納しています。出荷時は、グループ/チャンネル番号「B11」に設定されています。グループ/チャンネル番号の変更をされる場合は11ページの周波数設定のしかたの項をご覧ください。

ブランクパネル
(ワイヤレスチューナユニット取付部)
別売のワイヤレスチューナユニットAWU-842WAを増設される場合は、ブランクパネルをはずしてください。
(14ページの別売のワイヤレスチューナユニットの取付のしかたをご覧ください。)

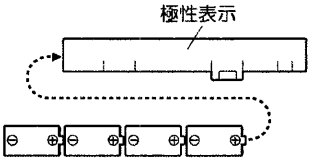
＜生産完了 2006年02月08日＞
AWA-8200D (7 / 31)

■ 背面収納部

乾電池収納部
本機を乾電池で使用する場合は、単一乾電池(R20P)8本を入れてください。
10ページの乾電池でご使用の場合をご覧ください。

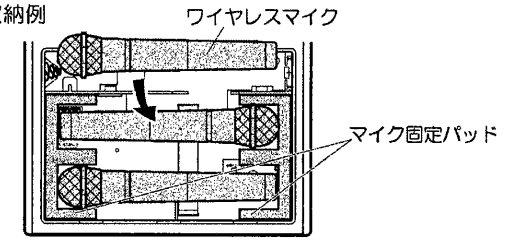
乾電池収納パイプ(2本)
本機を乾電池で使用する場合は、それぞれのパイプに単一乾電池(R20P)4本を極性表示に従って入れてください。

■乾電池収納パイプ

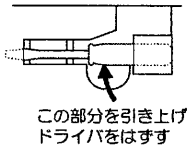


マイク固定パッド(付属品)
マイクロホンなどを収納するときに下図のように装着してください。下図のようにワイヤレスマイク(AWM-810)を3本(上段2本、下段1本)まで収納することができます。
収納したマイクロホンは収納マイク固定ベルトでしっかり固定し、輸送時の衝撃から保護してください。ただし別売ニカド蓄電池(オプション)取付時はこのパッドを装着できません。

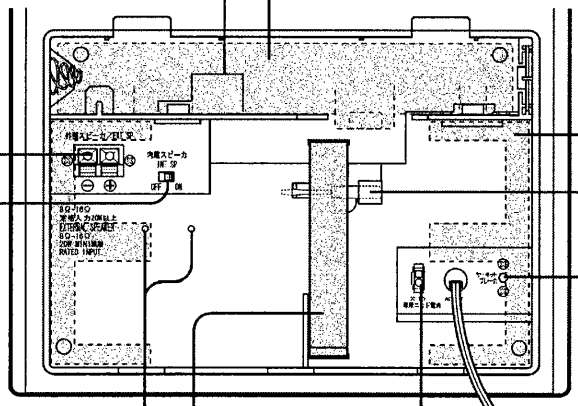
■マイク収納例



ワイヤレスチューナ設定用ドライバ



11ページの周波数設定のしかたをご覧ください。



サーキットブレーカ
異常発生時は飛び出した状態(■)になります。押し込む(▁)と復帰しますが、再び異常状態になるときは販売店に修理をご依頼ください。

蓄電池取付穴
別売のニカド蓄電池で使用の場合に接続します。

収納マイク固定ベルト
マイクロホン収納時に固定してください。

蓄電池接続コネクタ
別売ニカド蓄電池(オプション)を接続してください。

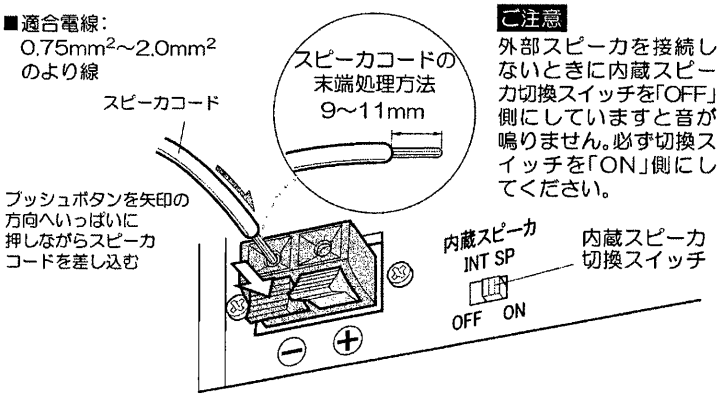
AC電源コード
AC100Vコンセントに接続してください。収納部ふたの穴からコードを引き出してください。

外部スピーカ接続端子
外部スピーカを接続してください。スピーカ接続コードを右図の要領で接続してください。

内蔵スピーカ切換スイッチ
内蔵スピーカを鳴らすか鳴らさないかを内蔵スピーカ切換スイッチで選択しください。
ON:内部スピーカを鳴らすとき
OFF:内部スピーカを鳴らさないとき

※外部スピーカは定格入力が20W以上で、インピーダンスが8~16Ωのものを使用してください。

■適合電線:
0.75mm²~2.0mm²
のより線

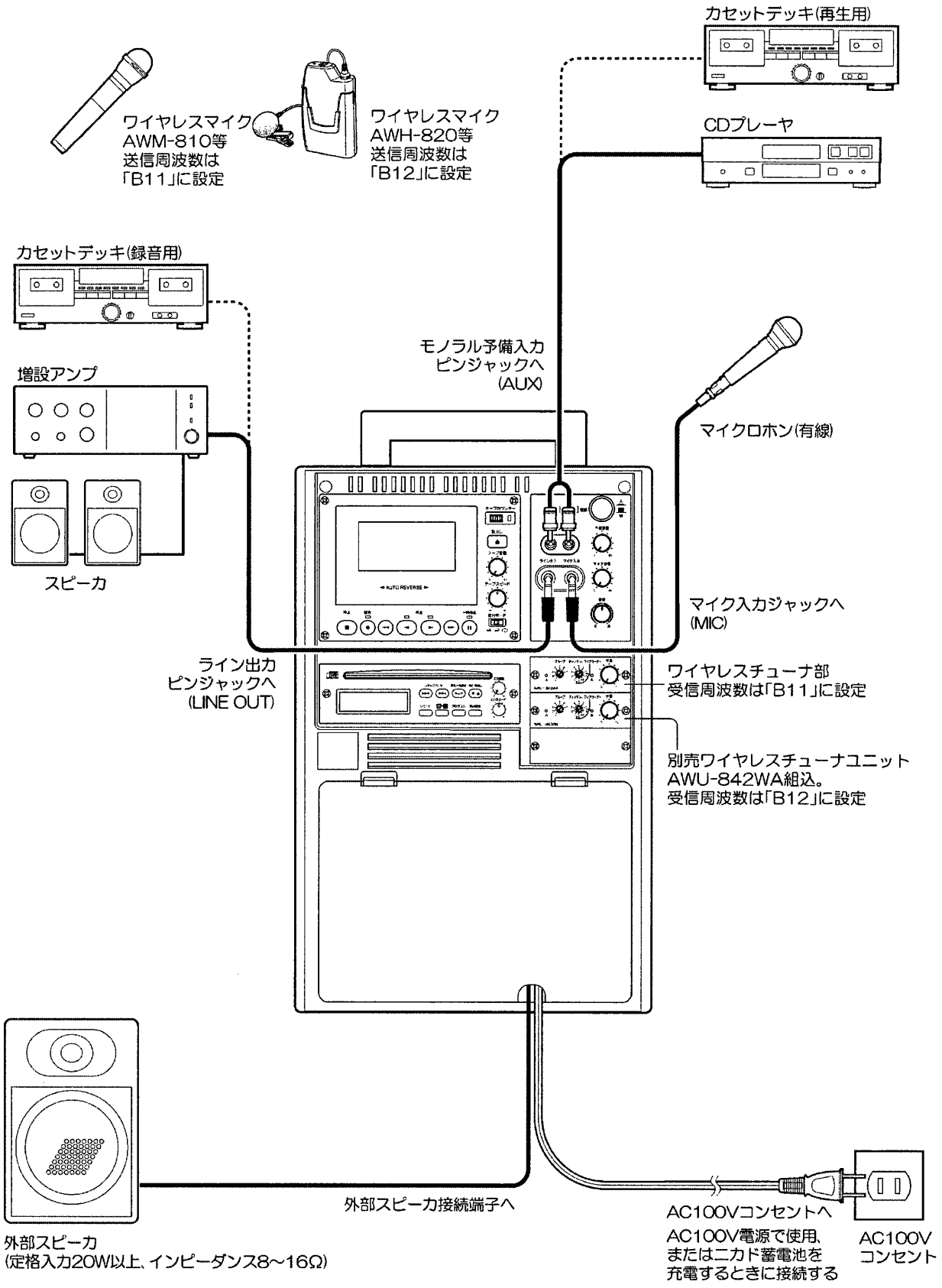


ご注意
外部スピーカを接続しないときに内蔵スピーカ切換スイッチを「OFF」側にしていますと音が鳴りません。必ず切換スイッチを「ON」側にしてください。

＜生産完了 2006年02月08日＞
AWA-8200D (8 / 31)

接続のしかた

● 下図の接続例を参考に接続してください。



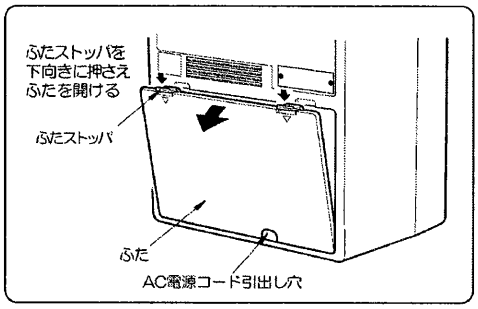
＜生産完了 2006年02月08日＞
AWA-8200D (9 / 31)

使用電源について

●本機は AC100V, 乾電池（R20P)、ニカド蓄電池（オプション）の３種類の電源が使用できます。下記の使用される電源の説明に従ってご使用ください。

ふたを開ける

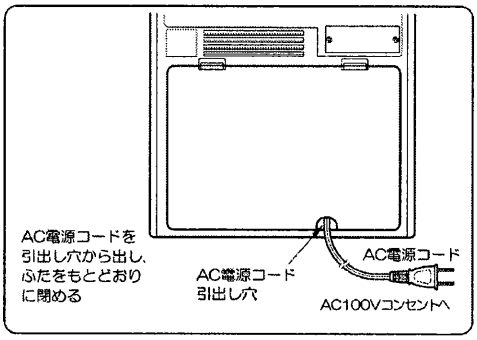
●ふたストッパを下向きに押さえ、ふたを手前に開けてください。内部に AC 電源コード、乾電池ホルダ、ニカド蓄電池収納部があります。(右図参照)



■AC 電源でご使用の場合

1.AC 電源コードを取り出し AC コンセントに差し込んでください。

2.AC 電源コードを下部の AC 電源コード引出し穴から出して、もとどおりにふたを閉めてください。(右図参照)



■乾電池でご使用の場合 (単一乾電池 R20P を８個ご準備ください)

1.電池収納パイプの極性表示に従って、それぞれのパイプに単一乾電池(R20P)4本を入れてください。(右図参照)

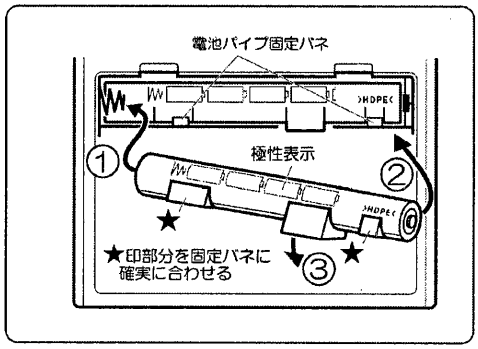
2.電池収納パイプを右図の要領で乾電池収納部に挿入してください。

3.もとどおりにふたを閉めてください。

●乾電池を内蔵している場合でも、AC コンセントに電源プラグを差込みますと AC100V で動作します。また AC100V コンセントに差込まない場合は、自動的に内蔵乾電池 (DC 電源)で動作します。

●電源スイッチを切ったときは、電源表示灯が点滅しながら消えますが、異常ではありません。

●アルカリ乾電池を使用しますと比較的、長持ちします。



ご注意

- 本機に乾電池が入っているときは乾電池の飛び出しなどを防ぐために、必ずふたを閉めてください。
- 乾電池を交換するときは、必ず全部新品に交換してください。乾電池は必ず同じ種類のものをご使用ください。また乾電池の極性は＋－を間違えないようご注意ください。
- 長時間使用しない場合は乾電池を取り出しておいてください。乾電池をそのまま入れておきますと、乾電池の液もれで本機が使用不能になる恐れがあります。

電池寿命の目安

形名 ＼ 電池種類	マンガン乾電池	アルカリ乾電池
AWA-8200D	約 2.5 時間	約８時間

●上記電池寿命は一般的な条件下で連続使用した場合（カセットデッキ、CD プレーヤは再生状態）の値です。実際の使用では間欠動作や出力の大小、オプションユニットの装着などにより変わりますので、参考としてください。

■ ニカド蓄電池（オプション）でご使用の場合

●販売店等にご相談ください。

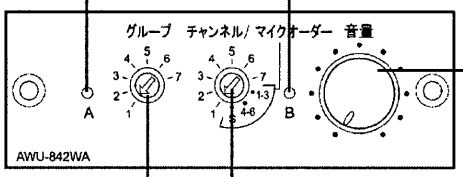
＜生産完了 2006年02月08日＞
AWA-8200D (10／31)

ワイヤレスチューナ部の説明

■ 各部のなまえと説明

アンテナ A 受信表示灯
本機の電源が入りますと赤色に点灯します.電波受信時はアンテナA入力の電波が選択されると緑色に点灯し,選択されないときは赤色に点灯します.

アンテナB 受信表示灯
本機の電源が入りますと赤色に点灯します.電波受信時はアンテナB入力の電波が選択されると緑色に点灯し,選択されないときは赤色に点灯します.



音量調節つまみ

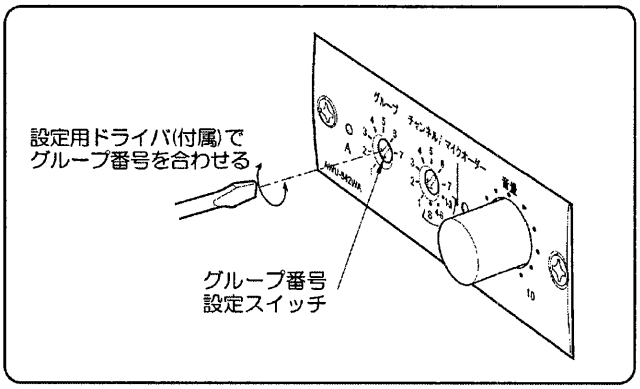
グループ(GROUP)設定スイッチ
使用するワイヤレスマイクのグループ番号と同じ数字に設定してください.
(下記の周波数設定のしかたを参照)

チャンネル(CH)設定スイッチ
使用するワイヤレスマイクのチャンネル番号と同じ数字に設定してください.
(下記の周波数設定のしかたを参照)

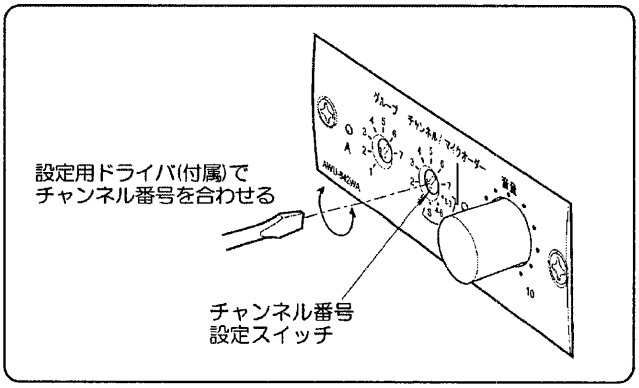
■ 周波数設定のしかた

●本機は出荷時に、ワイヤレスチューナ部のグループ/チャンネル番号を「B11」に設定しています。周波数設定を切り換える場合は、付属の設定用ドライバ※を使用し、次の要領でおこなってください。

1. グループ番号を設定する
グループ（GROUP）設定スイッチの矢印を設定したいグループ番号に合わせます。（右図参照）



2. チャンネル番号を設定する
次にチャンネル（CH）設定スイッチの矢印を設定したいチャンネル番号に合わせます。(右図参照)



※設定用ドライバは本機後面収納部内の中央付近に固定されています。（8ページの背面収納部の説明をご覧ください。）

ご注意
アンテナ受信表示灯が早く点滅する場合は、周波数設定が正しくおこなわれていないこと（12ページの受信周波数表にないグループ、チャンネルに設定している）を表しています。再度、周波数設定をしてください。

ご注意
- ●受信機とマイクは、同じ周波数（グループおよびチャンネル）に設定してください。
- ●同時に使用するマイクは、全て同じグループにして、全て違うチャンネルに設定してください。（12 ページの受信周波数表を参照）
- ●1 ヶ所で同時に使用できるチャンネル数は 12 ページの「グループ／チャンネル番号について」の項を参照してください。
- ●同じ周波数の妨害電波、高周波を使う機器が近くにないことを確認してください。やむをえず雑音源の近くでご使用になる場合は、ワイヤレスマイクと本機の距離は約 2m～10m の距離でご使用ください。なお、2m 以内に近づくと、使用していないチャンネルへの飛び込みや混信などが発生することがあります。
- ●ワイヤレスマイクを 2 本以上ご使用の場合は、マイクロホンどうしは 50cm 以上離してください。他の受信機へ混信することがあります。

＜生産完了 2006年02月08日＞
AWA-8200D (11／31)

800MHz 帯ワイヤレスシステムについて

■ グループ／チャンネル番号について

●同一場所で、マイクを同時に使用する場合は、１グループで１システム単独使用にしてください。
(同一場所で２グループ以上の同時使用はできません。)
・グループ１～４の中から１つ選んでシステムを組めば、最大６チャンネルまで使えます。
・グループ５は５チャンネル、グループ６は１チャンネル使えます。

●グループ７はグループ１～６の中から選定された周波数で構成されており、次の条件下で十分に注意して使用したときは、７チャンネルの組み合わせも可能となります。
・ワイヤレスマイク間を50cm 以上離す。
・ワイヤレスマイクとワイヤレスアンプ本体を2m 以上離す。
・隣り合った部屋ではワイヤレスマイクを使用しない。

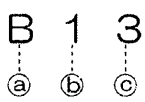
●受信周波数表にないグループ／チャンネル番号に設定すると、受信表示灯が点灯し受信できません。必ず受信周波数表を見て設定してください。

【受信周波数表】

	周波数 (MHz)	グループ／チャンネル番号						
		グループ1	グループ2	グループ3	グループ4	グループ5	グループ6	グループ7
1	806.125	B11						B71
2	806.250		B21					
3	806.375	B12						B72
4	806.500		B22					
5	806.625			B31				
6	806.750				B41			
7	806.875			B32				B73
8	807.000		B23					
9	807.125	B13						
10	807.250						B61	
11	807.375			B33				
12	807.500				B42			B74
13	807.625					B51		
14	807.750	B14						
15	807.875		B24					
16	808.000				B43			
17	808.125					B52		
18	808.250			B34				
19	808.375					B53		
20	808.500		B25					B75
21	808.625			B35				
22	808.750					B54		
23	808.875		B26					
24	809.000	B15						
25	809.125				B44			
26	809.250			B36				
27	809.375				B45			B76
28	809.500	B16						
29	809.625					B55		
30	809.750				B46			B77

■ チャンネル呼称について

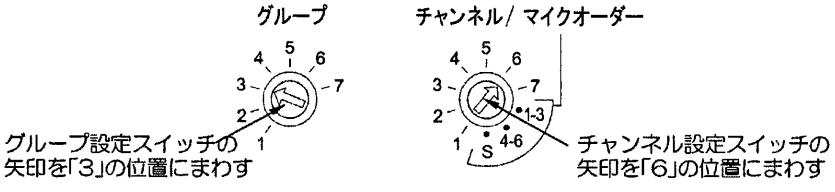
図7　例



ⓐ ……800MHz帯を表わす
ⓑ ……グループ(GROUP)番号を表わす
ⓒ ……グループ内のチャンネル(CH)番号を表わす

■ グループ／チャンネル番号の設定例

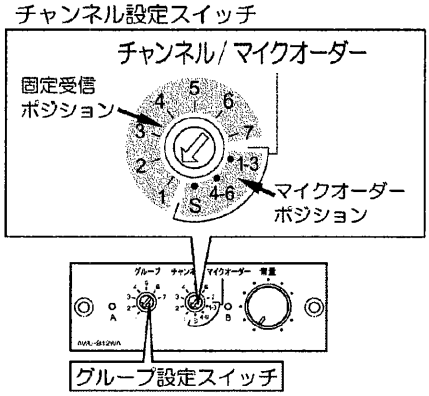
図8
使用するワイヤレスマイクのグループ／チャンネル番号が「B36」の場合



＜生産完了 2006年02月08日＞
AWA-8200D (12／31)

マイクオーダーについて

●本機は 1 本のマイクに対して専用のチャンネルを固定して受信する設定と、任意の複数チャンネルを選択して受信する「マイクオーダー」の設定が可能です。



◆マイクオーダーのチャンネル組合せ表

マイクオーダーポジション	グループ設定スイッチ / チャンネル設定スイッチ	1	2	3	4	5
	1-3	B11 B12 B13	B21 B22 B23	B31 B32 B33	B41 B42 B43	B51 B52 B53
	4-6	B14 B15 B16	B24 B25 B26	B34 B35 B36	B44 B45 B46	B54 B55
	S	B11 B12 B13 B14 B15 B16	B21 B22 B23 B24 B25 B26	B31 B32 B33 B34 B35 B36	B41 B42 B43 B44 B45 B46	B51 B52 B53 B54 B55

◆「マイクオーダーポジション」とは？

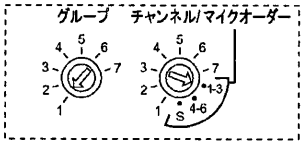
●チャンネル設定スイッチをマイクオーダーポジションに設定しますと、グループ内の複数(3~6)チャンネルのワイヤレスマイクを受信することができます。

●最大 6 チャンネルの受信が可能ですが、最初に使用（電源スイッチ「ON」）したワイヤレスマイクのチャンネルを優先し、受信します。

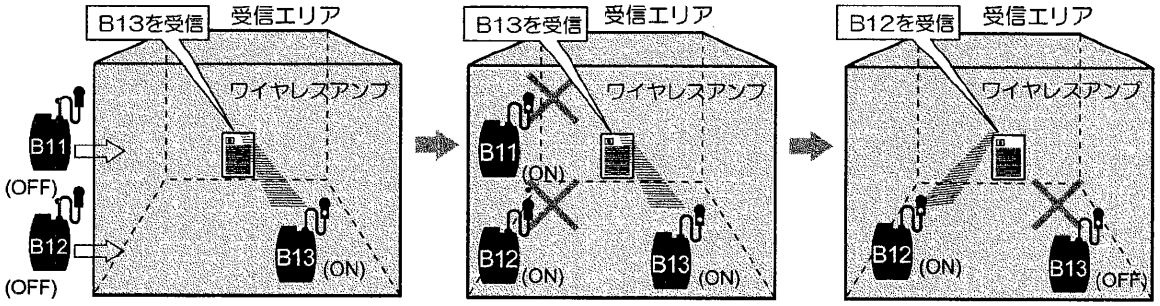
●受信中マイクの使用が終わり（電源スイッチ「OFF」）次第、設定されたチャンネルのマイクが受信可能になります。

●受信可能なチャンネルの組み合わせは上記のマイクオーダーのチャンネル組合せ表をご覧ください。またグループの設定は「1、2、3、4、5」のいずれかに設定してください。「6」「7」には設定しないでください。

マイクオーダー運用例



・グループスイッチの設定……1
（または2/3/4/5 のいずれか）
・チャンネルスイッチの設定……1-3
（または4-6,Sのいずれか）



① ワイヤレスマイク(B13)を受信中

② ワイヤレスマイク(B13)を受信中
ワイヤレスマイク(B11)(B12)は使用不可

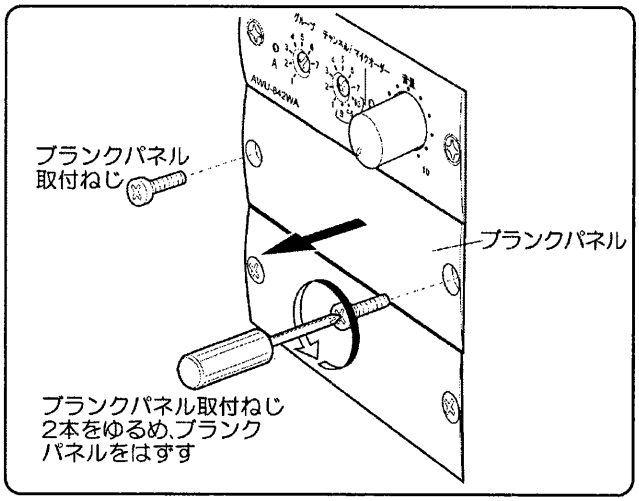
③ ワイヤレスマイク(B13)は使用終了
ワイヤレスマイク(B12)は使用可能

＜生産完了 2006年02月08日＞
AWA-8200D (13／31)

別売ワイヤレスチューナユニットの取付のしかた（ユニット増設の場合）

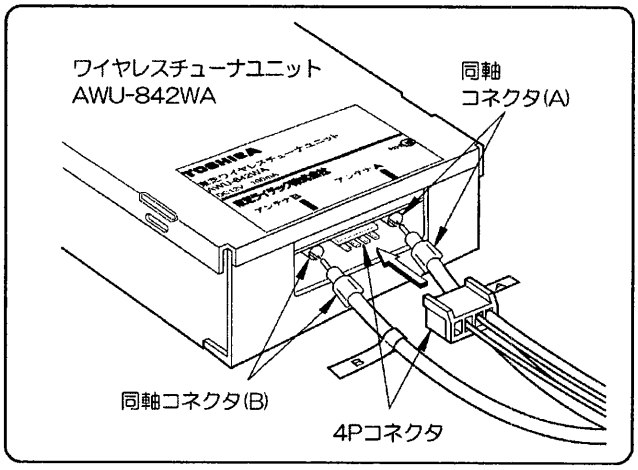
●本機は別売のワイヤレスチューナユニット AWU-842WA を追加で 2 台まで組み込むことができます。取付は販売店等にご相談ください。

1. ブランクパネルをはずす
本機のブランクパネルをはずし、ブランクパネルの裏側には4P コネクタと同軸コネクタ（A），（B）が差し込まれていますので、それらのコネクタをブランクパネルからはずしてください。（右図参照）

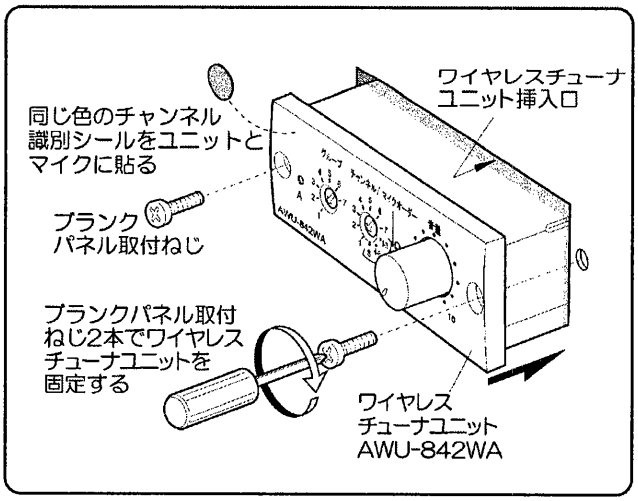


⚠ 警告 ご使用中は、感電の恐れがありますので、取付作業を行わないでください。作業時は、必ず本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。

2. 各コネクタをワイヤレスチューナユニットに接続する
はずした4P コネクタと同軸コネクタ（A），（B）をワイヤレスチューナユニット後面にある各コネクタにしっかりと接続してください。（右図参照）
同軸コネクタは必ず、（A），（B）同じ表示のコネクタと接続してください。



3. ワイヤレスチューナユニットを組み込む
ワイヤレスチューナユニットを本機のワイヤレスチューナユニット挿入口に挿入し、ブランクパネルを取り付けてあった2本のねじで固定してください。（右図参照）



付属のチャンネル識別シールについて

●設定したチャンネルをわかり易くするために
複数チャンネルのワイヤレスマイクを容易に識別するために、同じチャンネルのワイヤレスマイクとチューナユニットに、それぞれ同じ色のチャンネル識別シール（付属）を適当な位置に貼り付けてください。

ご注意
●ブランクパネルから4P コネクタをはずす際には、必ずパネル側のロックのツメをはずしてから取りはずしてください。
●チューナユニット挿入時には、接続コードをはさみ込まないようにご注意ください。

＜生産完了 2006年02月08日＞
AWA-8200D (14／31)

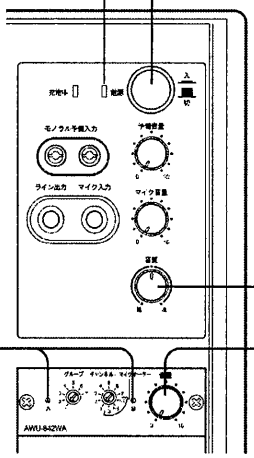
使いかた

ワイヤレスマイクの使い方

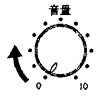
⚠注意 電源を入れる前には各音量を最小にする。突然大きな音がでて聴力障害などの原因になることがあります。

1.電源を入れる
電源スイッチを押して電源を入れ、電源表示灯が点灯していることを確認してください。

2.ワイヤレスマイクの電源スイッチを「ON」にする
アンテナA受信表示灯、またはアンテナB受信表示灯のいずれか選択された表示灯が緑色に点灯します。



3.ワイヤレスマイクの音量を調節する
ワイヤレスマイクの音量をワイヤレスチューナ部の音量調節つまみで調節してください。

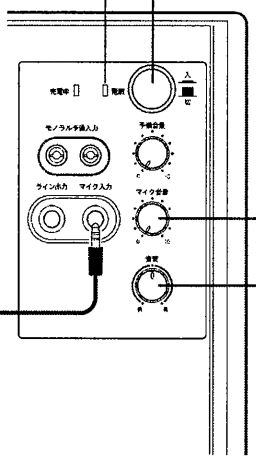


4.音質を調節する
ワイヤレスマイク放送の音質を音質調節つまみで調節してください。

すべての入力に共通して音質が調節されます。

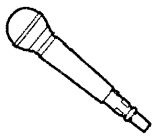
有線マイクの使い方

2.電源を入れる
電源スイッチを押して電源を入れ、電源表示灯が点灯していることを確認してください。



3.マイクの音量を調節する
マイクの音量をマイク音量調節つまみで調節してください。

1.マイクプラグをマイク入力ジャックに接続する



4.音質を調節する
マイク放送の音質を音質調節つまみで調節してください。

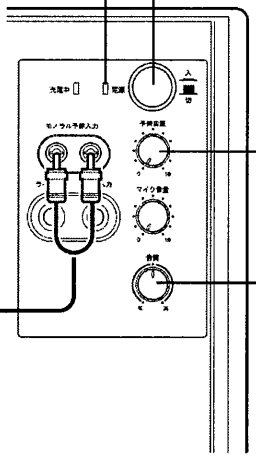
すべての入力に共通して音質が調節されます。

＜生産完了 2006年02月08日＞
AWA-8200D (15／31)

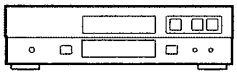
予備入力に接続されたCDプレーヤなどの放送をするとき

2.電源を入れる
電源スイッチを押して電源を入れ、電源表示灯が点灯していることを確認してください。

3.音量を調節する
音量を予備音量調節つまみで調節してください。



1.CDプレーヤなどの接続プラグを予備入力ピンジャックに接続する



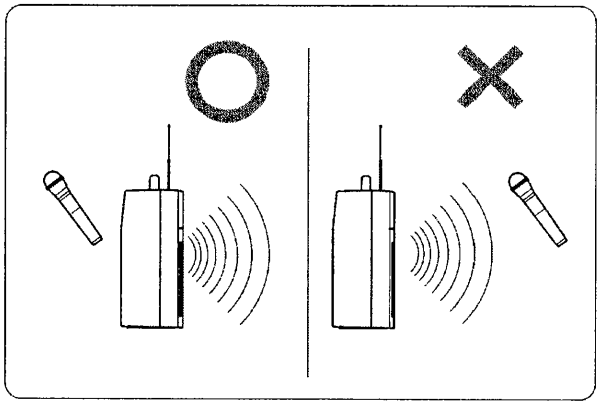
4.音質を調節する
CDプレーヤの演奏などの音質を音質調節つまみで調節してください。

すべての入力に共通して音質が調節されます。

ご注意
- ●電源コードやその他の接続コードが正しく接続されているか確認してください。
- ●各音量調節つまみは反時計回り最小の位置に合わせておいてください。

ハウリングとデッドポイントについて

- ●ワイヤレスマイクや有線マイクをスピーカーの真正面近くで使用したり、音量を上げすぎたりすると「キーン」というハウリングが起きます。ハウリングが起きた場合は、ただちに音量を下げるか、マイクの位置をスピーカーの方向からそらすと止まります。(右図参照)
- ●ワイヤレスマイクを移動しながら使用していると、突然音がでなくなる位置があります。これをデッドポイントといい、ワイヤレスマイクと本機内蔵アンテナの位置と壁、障害物などの位置関係により生ずるもので故障ではありません。本機の位置、あるいはワイヤレスマイクの位置を変えるとなおります。

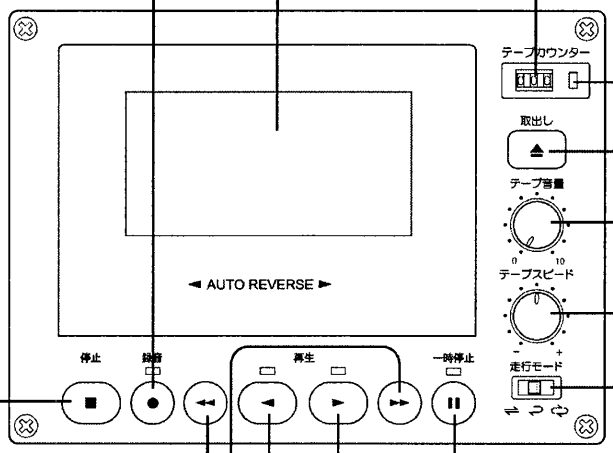


＜生産完了 2006年02月08日＞
AWA-8200D (16／31)

カセットデッキ部の説明

■ 各部のなまえと説明

録音ボタン
このボタンを押しますと録音待機状態となり、録音ボタン上部の録音表示灯が赤に点灯します。録音したい方向の再生ボタンを押した時点で録音が開始します。(18ページの録音のしかたをご覧ください。)



テープカウンター
録音時このカウンターの数字をメモしておくと録音開始時や希望位置をさがしだすのに便利です。

リセットボタン
このボタンを押すとテープカウンターの数字が"000"に戻ります。

取出しボタン
このボタンを押すとカセットホルダが開きテープの挿入、取り出しができます。

ご注意
停止ボタンを押しテープの動作を止めてから押してください。

テープ音量調節つまみ
カセットデッキの音量を調節してください。

テープスピード調節つまみ
カセットテープの再生速度を調節してください。(可変範囲 ±18%)
速度調節は再生時のみ可能です。録音時の速度調節はおこなえません。

テープ走行モード選択スイッチ
テープの走行モードを選択するスイッチです(⇌ ⮌ ⮎)の3つのモードから1つ選択します。20ページの走行モードについてをご覧ください。

停止ボタン
録音、再生、早巻き中のテープを止めるときに押します。

早巻きボタン
このボタンを押しますと矢印の方向にテープが早巻きされます。
(◄◄又は►►)再生中にこのボタンを押しますと頭出しができます。19ページの一曲頭出しのしかたをご覧ください。

再生ボタン
このボタンを押しますと、矢印の方向に再生を開始し、再生ボタン上部の走行表示灯が緑色に点灯します。

一時停止ボタン
(ポーズボタン)
このボタンを押しますと録音、再生中でもその間テープを止めることができ、一時停止ボタン上部の一時停止表示灯が黄色に点灯します。このボタンを再び押しますと録音、再生が再開されます。

■ 録音レベルについて

録音レベルの調節は録音する入力または機器側の各々の音量調節つまみで設定します。
ある程度の音量で放送しているときに放送内容を録音する場合は問題ありませんが、音量を小さくして録音しますと録音レベルが不足し、再生音量が小さくなることがあります。
特に本機を録音のみの目的で使用するときは、本機の音量調節つまみはなるべく中央付近になるように設定してください。
また、本機収納部の内蔵スピーカ切換スイッチを「OFF」側に切り換え、内蔵スピーカを鳴らさないで録音することをお薦めします。

＜生産完了 2006年02月08日＞
AWA-8200D (17／31)

■ 操作のしかた

⚠注意 電源を入れる前には各音量を最小にする。突然大きな音がでて聴力障害などの原因になることがあります。

再生のしかた

1.電源を入れる
電源スイッチを押して電源を入れ,電源表示灯が点灯していることを確認してください。

2.テープを挿入する
取出しボタンを押しますとカセットホルダが開きますのでテープを挿入します。

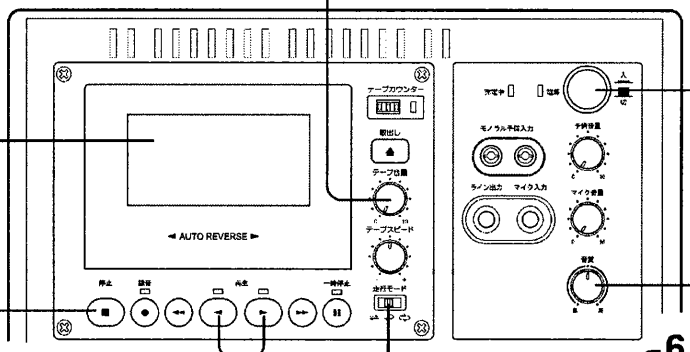
3.走行モードを選択する
テープ走行モード選択スイッチで走行モードを選択してください。(20ページの走行モードについてをご覧ください。)

4.再生ボタンを押す
正方向に再生する場合は►ボタンを押します。
逆方向に再生する場合は◄ボタンを押します。
テープが再生を開始し、走行表示灯が点灯します。

5.音量を調節する
音量をテープ音量調節つまみで調節してください。

6.音質を調節する
音質を音質調節つまみで調節してください。

7.
再生を止めるときに,停止ボタンを押します。



録音のしかた

●モノラル予備入力、マイク入力等に録音したい音声を入力してください。
●録音レベルの調節は録音する入力または機器側の各々の音量調節つまみで設定してください。

1.電源を入れる
電源スイッチを押して電源を入れ,電源表示灯が点灯していることを確認してください。

2.テープを挿入する
取出しボタンを押しますとカセットホルダが開きますのでテープを挿入します。

3.走行モードを選択する
テープ走行モード選択スイッチで走行モードを選択してください。(20ページの走行モードについてをご覧ください。)

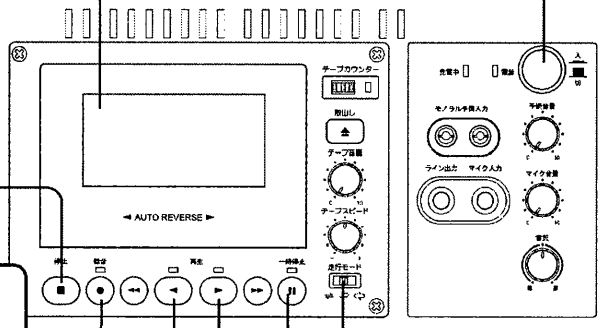
4.一時停止ボタンを押す
一時停止ボタンを押します。一時停止表示灯が点灯します。

5.録音ボタンを押す
録音ボタンを押します。録音表示灯が点灯し録音待機状態となります。

6.再生ボタンを押す
録音を開始したい方向の再生ボタンを押してください。走行表示灯が点灯し,録音待機状態となります。

7.もう一度一時停止ボタンを押す
一時停止ボタンを押します。一時停止表示灯が消え、録音を開始します。

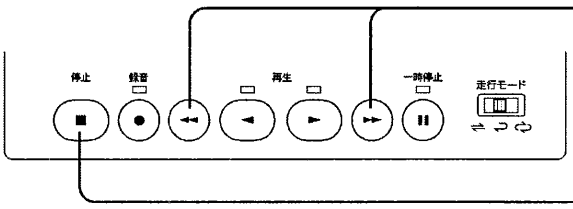
8.
録音を止めるときに,停止ボタンを押します。



ご注意
誤消去防止つめが折られている場合は録音ボタンを押し、その方向の再生ボタンを押せば録音はキャンセルされます。

＜生産完了 2006年02月08日＞
AWA-8200D (18／31)

早巻きのしかた

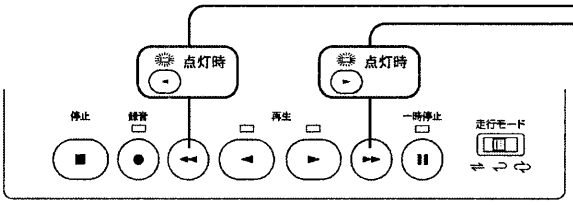


1.
矢印の方向の早巻きボタンを押すと、その方向の早巻きをします。

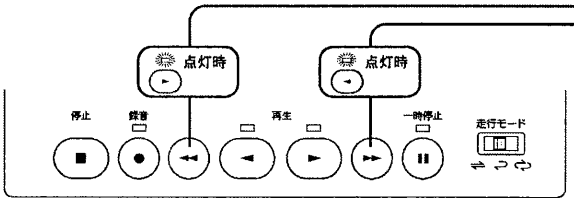
2.
停止ボタンを押すと早巻きが解除されテープが止まります。

一曲頭出し(自動選曲)のしかた

●一曲頭出し(自動選曲)とは、録音されている曲間の無録音部分を自動的に検出して、曲の始めから再生する機能です。



1.
今聞いている曲の次の曲の頭出しをする場合再生している方向と同じ矢印の方向の早巻きボタンを押してください。走行方向表示灯が点滅し頭出し状態を示します。次の曲の始めのところで早巻きが解除され再生状態となります。



2.
今聞いている曲の頭出しをする場合再生している方向と反対の矢印の方向の早巻きボタンを押してください。走行方向表示灯が点滅し頭出し状態を示します。その曲の始めのところで早巻きが解除され再生状態となります。

頭出しで再生待機状態にするには
再生中に一時停止ボタンを押して再生待機状態にしてから、上記の1又は2の操作を行ってください。

一曲頭出しの録音のしかた

●一曲頭出し再生をするためには曲と曲の間に3秒以上の無録音部分が必要です。

ご注意

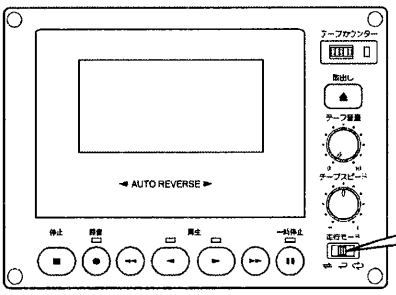
◎次のような録音状態のテープは頭出しが正常に動作せず、曲の頭でテープが止まらなかったり、曲の途中で止まったりしていますので特にご注意ください。

●曲と曲の間に会話や雑音が入っている ‥‥‥‥ 止まらない
●曲と曲の間の無録音部分が短い(3 秒以下) ‥‥‥ 止まらない
●曲の途中に 3 秒以上の途切れがある ‥‥‥‥‥ 曲の途中で止まる
●弱音の多い音楽や、録音レベルが低いもの ‥‥‥ 止まったり、止まらなかったり

＜生産完了 2006年02月08日＞
AWA-8200D (19／31)

走行モードについて

●テープの走行モードとして、再生で3モード、録音2モードの中から一つ選択することができます。



走行モード

1.「⇌」一方向モード

正方向(▶)、逆方向(◀)のいずれでも、現在走行している方向のテープエンドで再生(又は録音)を停止するモードです。

走行モード

2.「⮌」往復モード

正方向(▶)で再生(又は録音)をしている場合テープエンドで一度反転し逆方向のテープエンドで再生(又は録音)を停止するモードです。逆方向から再生(又は録音)を開始した場合はその方向のテープエンドで再生(又は録音)を停止します。

走行モード

3.「⟲」エンドレスモード

再生時に走行方向のテープエンドで反転を繰り返し連続して再生を繰り返します。録音時は往復モードと同じ動作となります。

■ カセットテープについて

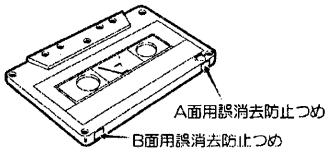
C-120タイプの使用禁止について

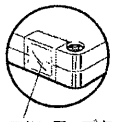
● C-120 タイプ(120 分用)のカセットテープは、ちょっとした不注意でテープが切れたり、伸びたり、巻込んだりしますのでご使用にならないでください。

エンドレステープの使用禁止について

●エンドレステープはテープが巻込み、故障の原因になりますのでご使用にならないでください。

録音されたテープを誤って消去しないために

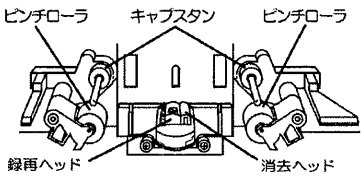




●貴重な録音を誤って消さないためにカセットテープには誤消去防止つめが各面用に各1個ついています。このつめを折り取っておきますと、テープデッキの誤消去防止装置が働いて再録音はできませんので安心です。

●つめを折り取ったカセットテープを再び録音したいときは、セロテープなどでつめの穴の上にはってください。再録音が可能になります。

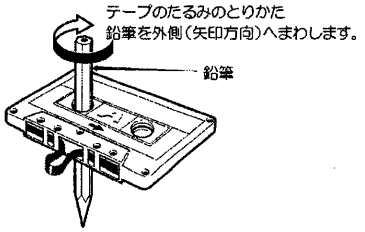
デッキのお手入れのしかた



①取出しボタンを押し、カセットホルダを開きます。
②下方にピンチローラ、キャプスタン、録音/再生ヘッド、消去ヘッドが見えます。
③綿棒又はやわらかい布でヘッド面やキャプスタン、ピンチローラを拭き、汚れを取ります。汚れのひどいときは、綿棒又は布に少量のアルコールを浸して拭き取ってください。

ご注意……●ヘッド部にドライバ、ペンチなどの鉄類や磁気類を近づけないでください。ヘッドが磁気を帯びますと録音時の雑音の原因になります。
●ヘッドの清掃は力を入れないでおこなってください。
●本機に注油しますと故障の原因になります。絶対に注油しないでください。

テープのたるみについて



●カセットテープをデッキに入れる前にテープがたるんでいないことを確かめてください。もし、たるんでいたら六角形の鉛筆などで左図のようにして、たるみをとってください。たるんだまま使用しますとテープが切れたり、伸びたり、巻込んだりしてテープを傷つけることがあります。
●カセットテープのリールを手で回してテープをたるませることも絶対しないでください。
●テープの巻きが強いときや、巻むらがあるときは、一度早送り又は巻戻しをしてからご使用ください。
●高温、多湿の所や磁気のある所(テレビやスピーカーの近くなど)を避けて保管してください。(テープの最適保管条件は湿度 50%、気温 24℃といわれています)
●ホコリの多い所での保管はプラスチックケースなどに収めてください。

著作権法について

■あなたが放送やレコード、その他の録音物から録音したものや、他人の講演などを録音したものは、個人として楽しむなどの他は著作権法上、権利者に無断で使用できません。

●放送コード、レコード、その他の録音物や他人の演奏などは、音楽の歌詞・楽曲と同じく著作権法により保護されています。従って、個人使用の範囲を超えて、それらをテープに録音して、販売・レンタル・譲渡したり、営利のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。

●詳しい内容や、著作権物に関する許諾のための手続きについては、「日本音楽著作権協会」(JASRAC) の本部または最寄りの支部にお問い合わせください。

＜生産完了 2006年02月08日＞
AWA-8200D (20／31)

CD プレーヤ部の説明

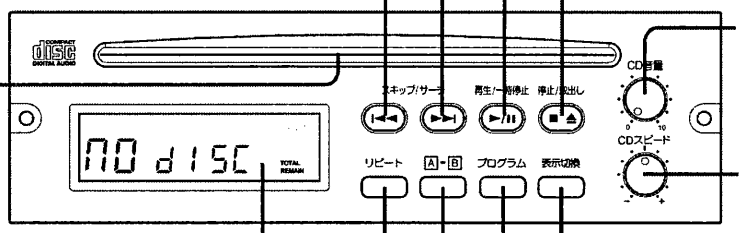
■ 各部のなまえと説明

スキップ/サーチボタン(アップ)
曲(TRACK)の送り選択をするときに押します。演奏中、このボタンを押し続けると(0.5秒以上)曲を早送りします。

スキップ/サーチボタン(ダウン)
曲(TRACK)の戻り選択をするときに押します。演奏中、このボタンを押し続けると(0.5秒以上)曲を早戻しします。

再生/一時停止ボタン
CDの演奏を始めるときに押します。演奏を一時停止(ポーズ)するときはこのボタンを押します。

停止/取出しボタン
演奏を停止するときに押します。CDを取り出すときは停止中にこのボタンを押します。



CD音量調節つまみ
CDの音量を調節するときに使用します。

スピード調節つまみ
CDの演奏スピードを調節するときに使用します。

ディスク挿入口
CDを挿入します。

ディスプレイ
操作または動作状態を表示します。下記説明をご覧ください。

リピートボタン
リピート演奏をするときに押します。押すたびに「1曲リピート」→「全曲リピート」→「解除」と切り替わります。

時間表示切換ボタン
演奏時間の表示を切り換えるときに押します。押すたびに「曲の経過時間」→「曲の残り時間」→「総残り時間」と切換わります。

プログラムボタン
プログラム演奏のプログラム内容を設定するときに押します。

A-Bリピートボタン
A-Bリピート演奏の開始点と終了点を設定するときに押します。

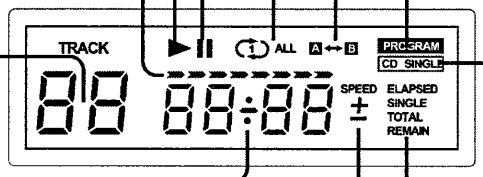
【ディスプレイ部】

一時停止表示
一時停止状態のときに点灯。

再生表示
演奏状態のときに点灯。

演奏時間表示
演奏中の曲、またはCD全曲の経過時間及び残り時間の目安を表示。

トラック表示
演奏中の曲(トラック)番号を表示。



演奏時間表示(分:秒)
CDの経過または残り時間を表示。演奏スピード調節時は調節値(±15%)を表示。

演奏スピード調節表示
CDの演奏スピード調節中は「SPEED」と、調節状態「+」「−」を表示。調節値は演奏時間表示に点灯。

リピート表示
リピート演奏のとき点灯。
:1曲のみリピート演奏
ALL:全曲リピート演奏

A-Bリピート表示
A-Bリピート演奏のとき点灯。

プログラム表示
プログラム演奏のときに点灯。

シングルCD表示
シングルCD(8cmCD)挿入時に点灯。

演奏時間モード表示
時間表示切換ボタンを押しますと下表の順に表示が切り換わります。

演奏時間モード表示	演奏時間表示の内容
ELAPSED	演奏中の曲の経過時間
SINGLE REMAIN	演奏中の曲の残り時間
TOTAL REMAIN	CD全曲の残り時間

＜生産完了 2006年02月08日＞
AWA-8200D (21／31)

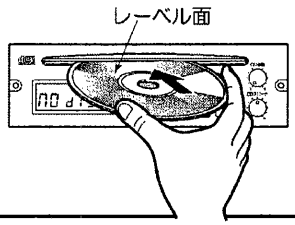
■ 操作のしかた

再生のしかた

1. 電源を入れる

□本機の電源スイッチを押して電源を入れ、電源表示灯が点灯していることを確認してください。

2. CD挿入口にCDを入れる



□レーベル面を上にしてCDを入れると、トータルトラック及び全演奏時間を表示し停止状態になります。

□シングルCDを挿入する際は、挿入口の中央から入れてください。

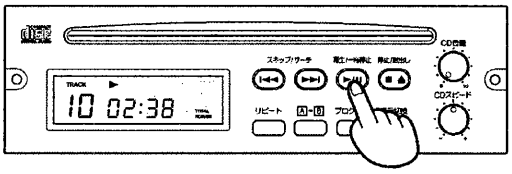
◇すでにCDが入っているときは、"TRACK"が点灯しています。CDは入れられませんので、無理に入れないでください。

◇シングルCD(8cm CD)は、アダプタを付けずに入れてください。

◇CD-R、CD-RWは使用できません。

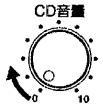
3. 再生/一時停止ボタンを押す

□再生/一時停止ボタンを押すたびに、再生/一時停止を繰返します。



4. 音量を調節する

□CD音量調節つまみを適当な位置に調節してください。



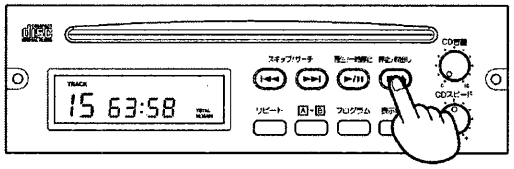
5. 音質を調節する

□音質を音質調節つまみで調節してください。

CDを取り出すには

停止/取出しボタンを押す

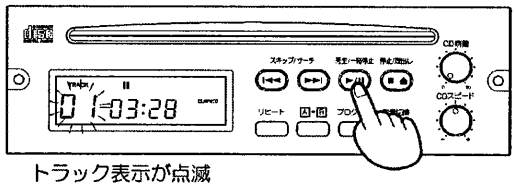
□停止中に停止/取出しボタンを押しますとCDが出てきます。演奏中の場合は停止/取出しボタンを押して演奏を停止してから、もう一度押してCDを取り出してください。



演奏を一時停止(ポーズ)するには

再生/一時停止ボタンを押す

□演奏中に再生/一時停止ボタンをおしますと演奏が止まります。再度押しますと再生します。



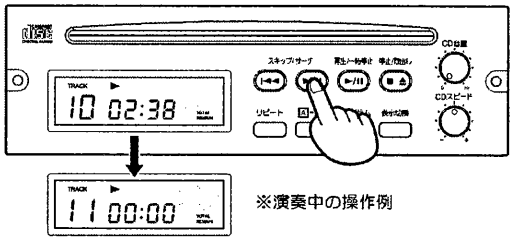
トラック表示が点滅

曲を選ぶには

●次の曲を聴きたいときには

スキップ/サーチボタンを押す

□演奏中にスキップ/サーチボタン[▶▶|]を押すと次の曲の頭に移動し、演奏を開始します。停止中に押すと次の曲番号に表示が換わります。

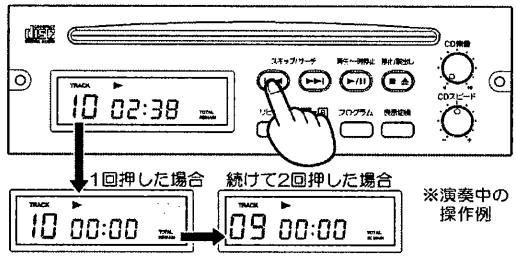


※演奏中の操作例

●前の曲を聴きたいときには

スキップ/サーチボタンを押す

□演奏中にスキップ/サーチボタン[|◀◀]を押すと演奏中の曲の頭に戻り、演奏を開始します。続けて2回押すと前の曲の頭に移動し、演奏を開始します。停止中に押すと前の曲番号に表示が換わります。



※演奏中の操作例

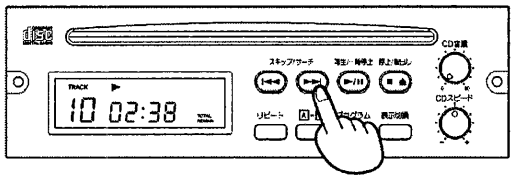
＜生産完了 2006年02月08日＞
AWA-8200D (22 / 31)

早送り／早戻しするには

●曲を早送りするには

スキップ/サーチボタンを押し続ける

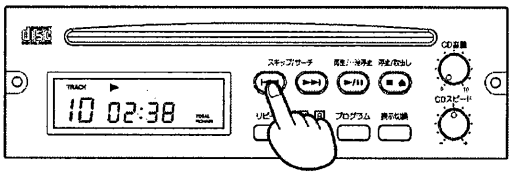
□0.5秒以上押すと早送りし、離すとその位置から演奏を開始します。



●曲を早戻しするには

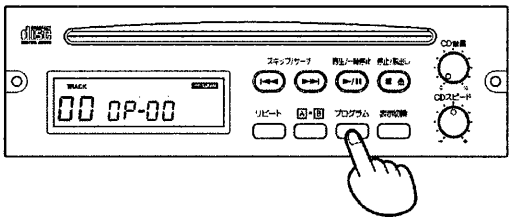
スキップ/サーチボタンを押し続ける

□0.5秒以上押すと早戻しをおこない、離すとその位置から演奏を開始します。

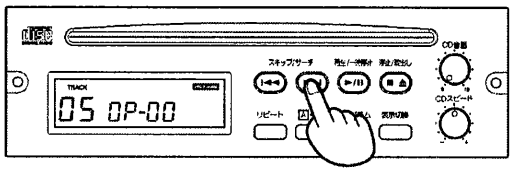


プログラム演奏をするには(演奏する曲と曲順を自由に設定する)

①停止中にプログラムボタンを押す

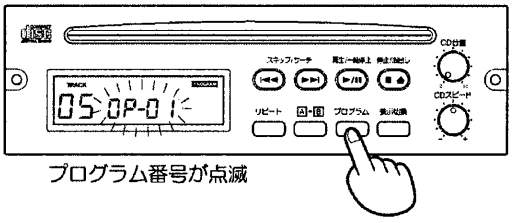


②スキップサーチボタンを押しプログラムしたい曲番を表示させる。



③プログラムボタンを押し曲番を登録する

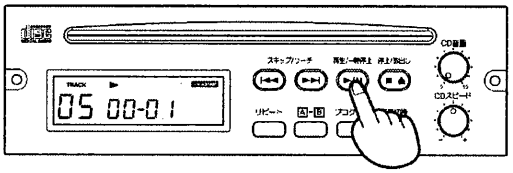
②③を繰り返し最大32曲までプログラムすることができます。



プログラム番号が点滅

④再生/一時停止ボタンを押す

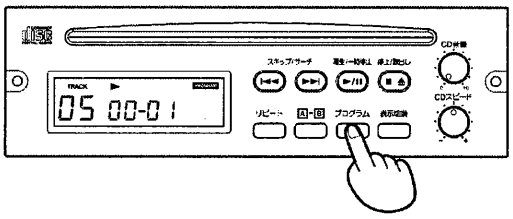
プログラムした曲順で演奏します。



●プログラム内容を確認するには

登録後、プログラムボタンを押す

上記の③で登録後プログラムボタンを押すとプログラム内容を確認することができます。

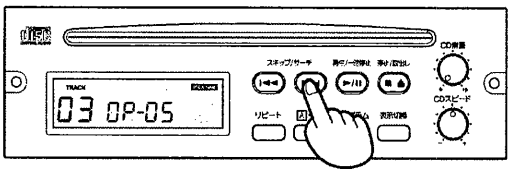


●プログラム内容を変更するには

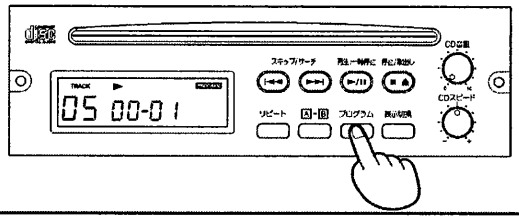
①登録後、プログラムボタンを押す

左記のプログラム内容を確認する要領で変更したいプログラム番号を選択します。

②スキップサーチボタンを押し変更したい曲番を表示させる。



③プログラムボタンを押し曲番を登録する



●プログラム内容を解除するには

プログラム演奏中にプログラムボタンを押す

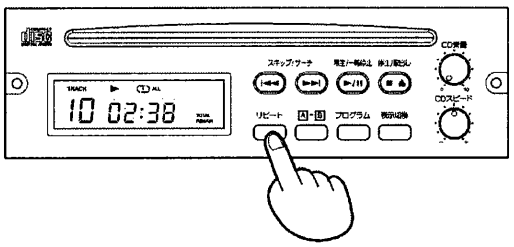
□ディスプレイの"PROGRAM"が消えて、演奏している曲から通常の演奏になります。

＜生産完了 2006年02月08日＞
AWA-8200D (23／31)

1曲または全曲を繰返し聴くには(リピート演奏)

リピートボタンを押す

□押すたびに↻1 → ↻ALL →無表示の順に変わります。



↻1	1曲リピート(今演奏している曲を繰り返し演奏します。)
↻ALL	全曲リピート(CD全曲を繰り返し演奏します。)
	リピート解除(CDの最後の曲まで演奏します。)

◇リピート演奏について

・演奏中の曲または、CD全曲を繰り返し演奏します。

指定した部分を繰返し聴くには(A-Bリピート演奏)

注意）リピート演奏中、またはプログラム演奏中にこの設定はできません。

●A-Bリピート演奏設定例　　A-Bリピート演奏区間

◆4曲目の指定した部分を繰り返し演奏

CK 3	TRACK 4	TRACK 5	TRACK 6	TRACK 7	TRACK 8
	A B				

◆6曲目の頭から8曲目の途中までを繰り返し演奏

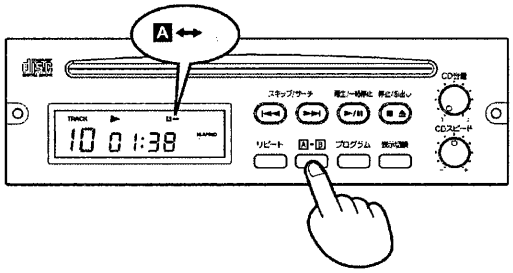
CK 3	TRACK 4	TRACK 5	TRACK 6	TRACK 7	TRACK 8
		A			B

◇A-Bリピート演奏について

・演奏中のCDの指定した部分を繰り返し演奏します。（指定できる部分は連続する1区間のみ）

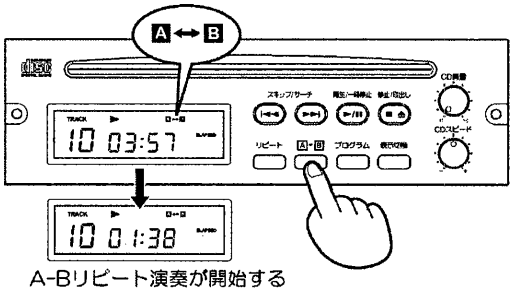
①A-Bリピートボタンを押す
（開始点の設定）

演奏中、繰り返したい部分の開始点でA-Bリピートボタンを押します。



②A-Bリピートボタンをもう一度押す
（終了点の設定）

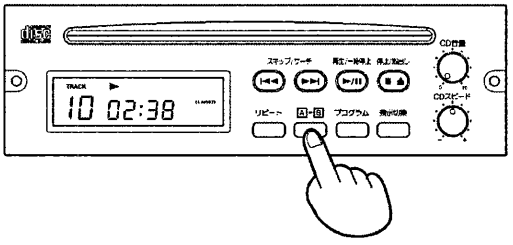
繰り返したい部分の終わりでA-Bリピートボタンを押します。その後、その区間の繰り返し演奏が開始します。



A-Bリピート演奏が開始する

●A-Bリピート演奏を解除するには
A-Bリピート演奏中にA-Bリピートボタンを押す

ディスプレイの"A-B"が消えてA-Bリピートは解除され、通常の演奏に戻ります。

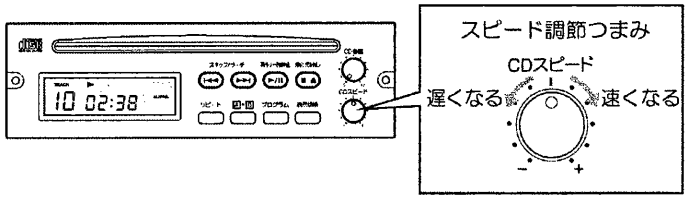


＜生産完了 2006年02月08日＞
AWA-8200D (24／31)

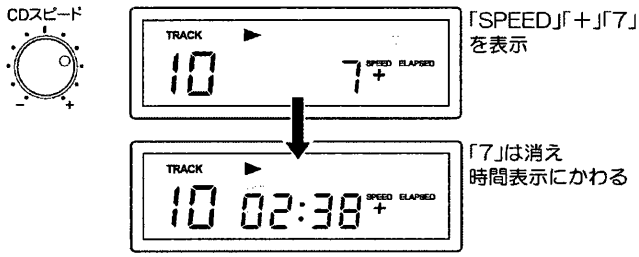
演奏スピードを調節するには(CDスピード調節)

再生中にスピード調節つまみをまわす

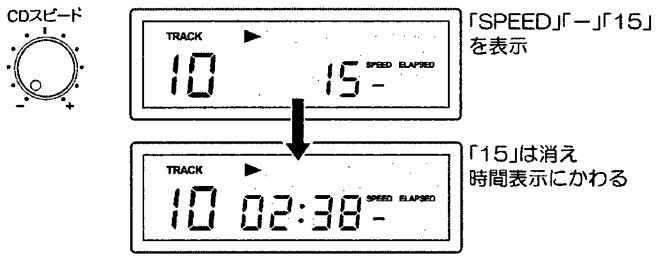
□再生中、スピード調節つまみをまわし、演奏スピードを調節します。



例1)演奏スピードを速く(約7%)調節



例2)演奏スピードを遅く(約15%)調節



◇CDスピード調節について

・CDの演奏スピードを±15%の範囲で調節します。

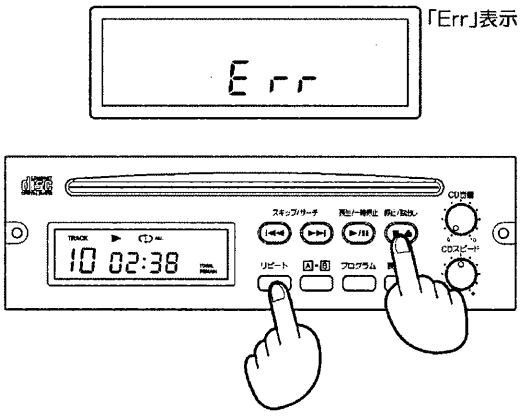
◇メモ

・スピード調節と同時に音程も変化します。

Err(エラー)表示の状態を解除できない場合

停止/取出しボタンとリピートボタンを同時に3秒以上押し続ける

□停止/取出しボタンとリピートボタンを同時に3秒以上押し続け、エラー状態を解除してください。



◇エラー表示(Err)について

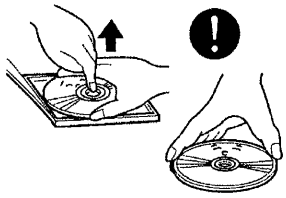
・CDプレーヤになんらかの原因により異常が発生した場合、Err(エラー)が表示され操作する事ができなくなります。

◇お願い

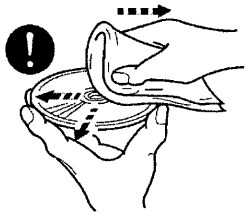
・エラーを解除しても、再びErr(エラー)が表示する場合は電源スイッチを切り、販売店などへご連絡ください。

■ コンパクトディスクについて

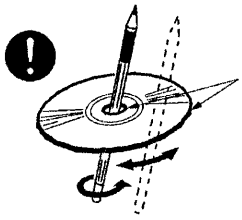
コンパクトディスクの取扱かた



●保護ケースからコンパクトディスクを取り出す場合、図のようにケース中心部を押し、コンパクトディスクの両端を持ってください。また、ディスク面には直接手を触れないようにしてください。

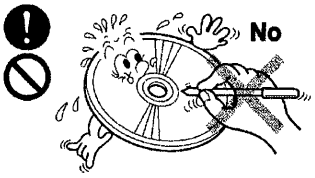


●コンパクトディスクを拭く場合は、乾いた柔らかい布で図のように、中心から外に向かって拭いてください。

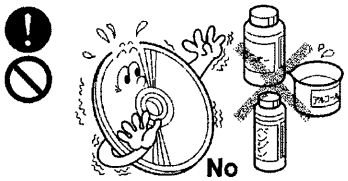


●新しいディスクには、ディスクの周囲に“バリ”が残っていることがあります。このようなディスクをご使用になると、動作しなかったり音飛びの原因となります。バリのあるディスクは、ボールペンなどでバリを取り除いてからお使いください。

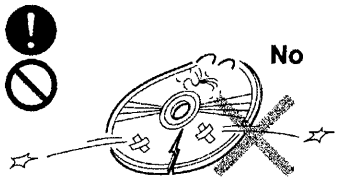
コンパクトディスク使用上の注意



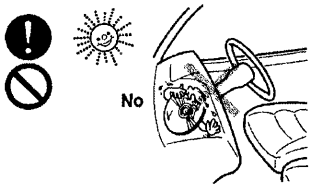
●ディスク面にラベルを貼ったり、鉛筆やペンなどでキズをつけたりしないでください。



●コンパクトディスクは、きれいなものをご使用ください。もし、汚れている場合は、乾いた柔らかい布で拭いてください。固い布や、シンナー、ベンジン、アルコールなどは絶対に使用しないでください。



●大きいキズ、変形、ヒビなどがあるコンパクトディスクは使用しないでください。誤動作や故障の原因となる場合があります。



●コンパクトディスクは熱に弱いので、直射日光のあたる場所やヒータなどの近くに置かないでくださ

⚠注意 市販のCD保護シートや、スタビライザなどを装着したディスクは使用しないでください。
メカニズム内部で引掛かりなどが発生し、ディスクを傷つける場合があります。

ご使用になる前に

■ご確認事項

1. 本機は“ DIGITAL AUDIO ”表示のあるコンパクトディスク以外(CD-R、CD-RWなど)のご使用はできません。

■取扱上のご注意

1. 冷えた場所から急激に温度が高くなる場所へ移動し、すぐに本機を使用すると、ディスクや光学部品が結露して正常な動作をおこなわないことがあります。ディスクが結露しているときは、柔らかい布で拭いてください。光学部品が結露しているときは、1時間ほど放置しておくと自然に結露がとれ正常に動作します。
3. 本機を傾けた状態で使用すると正常に動作しないばかりでなくメカニズム内部で引掛かりなどが発生し、ディスクに傷を付ける場合があります。
4. CD挿入口からのディスクの出し入れは無理におこなわないでください。本機の故障やディスクに傷を付ける恐れがあります。
5. ディスク走行中あるいはディスクをイジェクトしている状態で電源スイッチを切ったり、ACプラグを抜いたり、DC電源の電圧が異常に低下したりしますと、ディスクが取り出せなくなることがあります。いったん電源スイッチを切り、ACプラグをコンセントに差すか、乾電池を交換して、電源スイッチを入れてディスクを取り出してください。

<生産完了 2006年02月08日>
AWA-8200D (26／31)

付属の防塵カバーについて

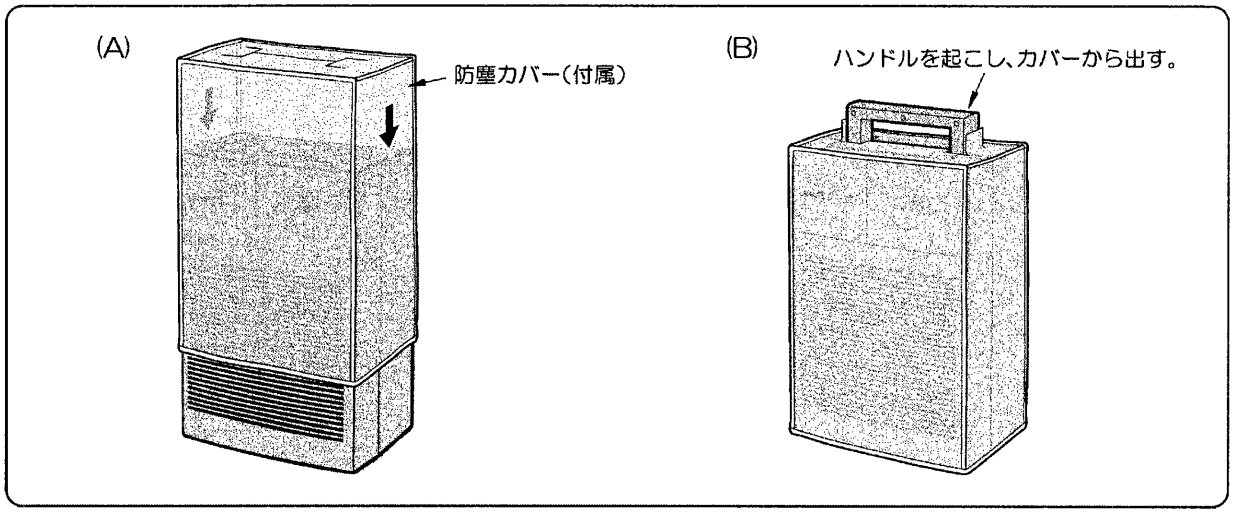
● 付属の防塵カバーは本機を埃や傷から保護するため、保管時または移動時などにご利用ください。

防塵カバーの取り付け方

● 防塵カバーを取り付ける時は、必ず接続機器のプラグをはずし、カセットホルダを閉めてください。
● 防塵カバーは前後関係なく本機に取り付けてください。（下図Ａ参照）

移動するときは

● 防塵カバーを取り付けた状態で移動するときは本機のハンドルを起こしカバー上部の切れ込みより出してください。（下図Ｂ参照）
● 移動が終わり、保管する場合はハンドルを倒しカバー内部に収納してください。



⚠ 警告

■防塵カバーを取り付けたまま本機を使用しない。通風孔がふさがり内部に熱がこもり火災の原因となります。
■本機に水滴が付いたまま防塵カバーを付けない。火災や感電の原因になることがあります。特に保管される時はご注意ください。よく乾燥してからカバーを取り付けてください。

＜生産完了 2006年02月08日＞
AWA-8200D (27／31)

修理サービス

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、 お買いあげの販売店またはお近くの東芝家電修理ご相談センターにご相談ください。なお、ご相談されるときは形名およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。

ご相談のまえに、つぎのことをお調べください

⚠ 警告

- 次の方法で点検されても正常に動作しないとき、または使用中に急に異常が発生したときは、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙などの異常がないことを確認し、販売店などへご連絡ください。
- **本機は絶対に分解しないでください。感電の恐れがあります。修理は販売店などにご依頼ください。**

症　　状	点検項目	処　　置
全く作動しない。	電源が接続されていますか。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	電源表示灯が点灯していますか。	電源スイッチを入れてください。
	乾電池は入っていますか。	確認と同時に電池の消耗も確認してください。
	電源スイッチは入っていますか。	電源スイッチを入れてください。
	各音量調節つまみがしぼられていませんか。	各音量を適当な音量に調節してください。
有線マイクの音声がでてこない。	マイクのトークスイッチは入っていますか。	マイクのトークスイッチを入れてください。
	マイクプラグは確実に差し込まれていますか。	確認してください。
	マイクは正常ですか。	他のマイクと交換してください。
	マイク音量調節つまみが「0」位置になっていませんか。	適当な音量に調節してください。
接続機器の音がおかしい。または小さい。	接続機器のインピーダンスは合っていますか。	確認してください。
	DC 電源で使用の場合、乾電池またはニカド蓄電池が消耗していませんか。	乾電池の場合は全部新しい電池に取り換え、ニカド電池の場合は充電をおこなってください。
	接続機器及び本機の予備音量調節つまみが「0」位置になっていませんか。	適当な音量に調節してください。
内蔵スピーカの音がでない。	内蔵スピーカ切換スイッチが「OFF」位置になっていませんか。	確認してください。
外部スピーカの音がでない。	正しく接続されていますか。	確認してください。

ワイヤレスチューナユニット部

症　　状	点検項目	処　　置
全く作動しない。	電源が接続されていますか。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	電源表示灯が点灯していますか。	電源スイッチを入れてください。
ワイヤレスマイクの音声がでてこない。	マイクのトークスイッチは入っていますか。	マイクのトークスイッチを入れてください。
	マイクの電池が入っていますか。	確認と同時に電池の消耗も確認してください。
	マイクとワイヤレスチューナ（ユニット）のグループ／チャンネル番号は同じですか。	グループ／チャンネル番号を確認してください。
	デッドポイントの位置ではありませんか。	確認してください。
	ワイヤレスチューナ（ユニット）の音量調節つまみがしぼられていませんか。	適当な音量に調節してください。

＜生産完了 2006年02月08日＞
AWA-8200D (28／31)

カセットテープデッキ部

症　　状	点検項目	処　　置
全く作動しない。	電源が接続されていますか。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	電源表示灯が点灯していますか。	電源スイッチを入れてください。
テープが走行しているのに音が出ない。	未録音のカセットテープがセットされていませんか。	確認してください。
	テープ音量調節つまみが「0」になっていませんか。	適当な音量に調節してください。
前回に録音した音がときどきでる。	前回、本機で録音された場合	消去ヘッドを清掃してください。（20 ページのデッキのお手入れのしかたを参照）その後、録音をやり直してください。
	前回、他機で録音された場合	録音をやり直してください。
音がかすれたり、ふるえたり、また録音がきれいにできない。	キャプスタン、ピンチローラ、ヘッドが汚れていませんか。	キャプスタン、ピンチローラ、ヘッド部を清掃してください。（20 ページのデッキのお手入れのしかたを参照）
	テープが傷んでいませんか。	別のテープと取り換えて問題がなければ新しいテープと交換してください。
録音ができない。	カセットテープの誤消去防止つめが折り取られていませんか。	誤消去防止つめが折り取られていれば、溝にセロテープを貼って下さい。（20 ページの録音されたテープを誤って消去しないためにを参照）
自動選曲ができない。	録音の方法を誤っていませんか。	19 ページの一曲頭出し（自動選曲）の録音のしかたを参照。

CD プレーヤ部

症　　状	点検項目	処　　置
全く作動しない。	電源が接続されていますか。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	ディスプレイ表示灯が点灯していますか。	電源スイッチを入れてください。
演奏時間は進んでいるが音声がでてこない。	CD 音量調節つまみが「0」位置になっていませんか。	適当な音量に調節してください。
CD が入らない。	本機の中に CD が入っている。	停止/取出しボタンを押して、CD を取り出してください。
CD がすぐ出てしまう。	CD を裏表逆に入れていませんか。	CD のレーベル面を上にして入れてください。
	シングル CD 用アダプタを使用していませんか。	シングル CD 用アダプタを取り外して、入れてください。
	CD-R、または CD-RW を使用していませんか。	本機に適合する CD を入れてください。
CD がイジェクトできない。	極端な電源変動による誤動作、または機構の誤動作。	販売店などへご相談ください。ドライバなどで無理に取り出さないでください。
音飛びする、再生途中で停止する。	CD が汚れている。	CD を柔らかい布で拭いてください。
	CD に傷やそりがある。	傷やそりの無い CD に交換してください。

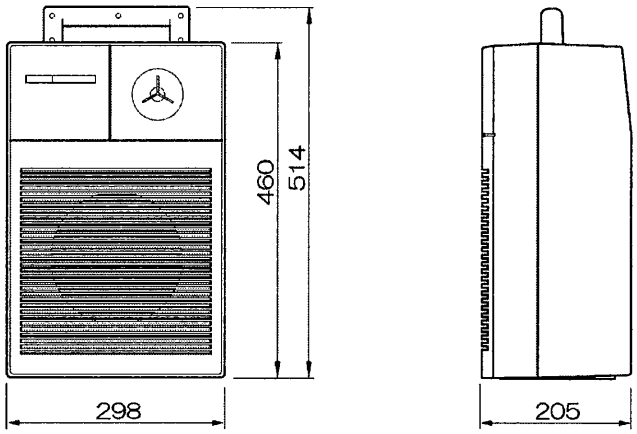
仕様

使用電源	AC100V 50/60Hz、R20P（単一形）×8
定格消費電力	56W（電気用品安全法による測定方法に基づく）
消費電流	AC1.2A（20W出力時）　DC2.8A（8W出力時）
定格出力	AC時：20W, DC時：8W
ひずみ率	5%（1kHz定格出力時）
周波数特性	70Hz～12kHz（偏差±3dB），カセット125Hz～10kHz（偏差±3dB）
音質調節	4kHzに於いて+5dB／-10dB（1kHz基準）調節器付
入力感度及びインピーダンス	マイク：約-54dBs 600Ω　不平衡　音量調節器付 予備：約-20dBs 10kΩ　不平衡　音量調節器付 チューナ部入力：約-24dBs 10kΩ　不平衡
信号対雑音比	70dB以上（カセット部は除く）
外部接続スピーカ	8Ω～16Ω　許容入力　20W以上
ライン出力	2dBs 1kΩ　不平衡
アンテナ方式	1/2ダイポーラアンテナ×2（内蔵）
動作表示	電源：発光ダイオード（緑）　減電圧時点滅 充電：発光ダイオード（赤）
使用温度範囲	0℃～+40℃
外装	ケース（ABS樹脂）：マンセルN7近似値　ライトグレー
外形寸法	幅298mm　奥行205mm　高さ460mm
質量	約8.9kg（乾電池、蓄電池を除く）
付属品	取扱説明書 …… 1 東芝家電修理ご相談センター一覧表 …… 1 電池ケース …… 2 マイク固定パッド …… 2 設定用ドライバ …… 1 防塵カバー …… 1 チャンネル識別シール …… 1
●チューナ部（AWU-842WA	1台組込、2台増設可）
受信周波数	806.125MHz～809.750MHz（125kHz間隔30波）
出荷時設定受信周波数（グループ/チャンネル番号）	806.125MHz（B11）
受信方式	PLL制御スーパーヘテロダイン方式
受信感度	20dBμV
受信表示	2色発光ダイオード×2 待機時(赤)、受信時〔選択側受信部(緑)、非選択側受信部(赤)〕設定外時（赤/点滅）
●カセット部	
適合テープ	フィリップス形コンパクトカセットテープ（C-120、エンドレステープを除く）
メカニズム	フルロジック
制御方式	オートリバース方式
テープ速度	4.75cm/sec（再生時±18%可変）
ワウ・フラッタ	0.2% WRMS
トラック方式	2トラック　1チャンネル
ヘッド	録再1、消去1（ロータリ式）
選曲	前後一曲
早巻き時間	約120秒（C-60使用時）
録音方式	オートレベル、交流バイアス方式
消去方式	交流消去方式
回転部寿命	約1000時間
付帯機能	テープカウンタ、テープスピード調節器、一時停止、走行モード選択、テープ音量調節器、オイルダンパ式カセットホルダ
動作表示	録音時：発光ダイオード（赤）　再生時：発光ダイオード（緑） カセット一時停止時：発光ダイオード（橙）　テープカウンタ：機械式
●CDプレーヤ部	
適合CD	コンパクトディスク　12cm/8cm
周波数特性	20Hz～20kHz（偏差±1dB）
スピード可変範囲	±15%
付帯機能	シングルリピート・オールリピート・A-Bリピート・プログラム再生
表示	動作表示（液晶表示）

＜生産完了 2006年02月08日＞
AWA-8200D (30／31)

外形寸法図

単位：mm



保証とアフターサービスについて

保証について

保証の内容は、下記のとおりとさせていただきます。

保証期間	保証期間は、お買い上げの日から１年間です。
保証内容	取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無償修理をさせていただきます。
保証の免責事項	保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。 (1) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷 (2) お買上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷 (3) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷 (4) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷 (5) 施工上の不備に起因する故障や不具合 (6) 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷 (7) 日本国内以外での使用による故障及び損傷

修理を依頼されるとき

1．保証期間中は

万一故障がおきた場合は、お買上げ日を特定できるものを添えてお買上げの販売店（工事店）までお申し出ください。

2．保証期間を過ぎているときは

お買上げの販売店（工事店）にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理をさせていただきます。

アフターサービスについてご不明な点は

修理に関する相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店（工事店）または東芝家電修理ご相談センターにお問い合わせください。

東芝ライテック株式会社 電材照明社 〒140-8660 東京都品川区南品川2丁目2番13号（南品川JNビル）TEL(03)5463-8779

お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。 (12120)A

＜生産完了 2006年02月08日＞
AWA-8200D (31／31)